

# 歯周病と全身疾患―特に関係ある糖尿病について①

土井英暉 (東成区)

歯科医療の進歩は目覚ましく、科学的根拠に基づいた治療を早期に受診されれば、ほとんどの人が80歳まで自分自身の歯で咀嚼できる治療システムを確立できたと考えている。

ただし、歯科医院でブランクコントロールする努力、および、家庭での口腔清掃の励行や、食生活や喫煙などの生活習慣の改善なくしては、歯周病に対する治療効果は期待できない。人生80年の

高齢化社会において、患者と歯科医師との相互理解と協力のもと歯周病管理が長期間にわたって、初めてその初発や再発を予防することが可能となる。

人生80年の高齢化社会を迎え、自分の歯が20本あれば、美味しく物を食べるのができ、素敵な笑顔で健康に長寿を全うできると思う。歯の喪失の原因である歯周病の予防や治療は、歯と口のみならず、全身の健康づく

りとも関連のあることから、生涯を通じて健康づくりに不可欠である。また、歯と口は消化器官の一部として体と繋がっている。口腔に発症した病気が全身に、あるいは逆に全身の病気が口腔組織に影響することが考えられる。

21世紀の歯科医学は、最新の科学と環境・心の調和を維持しながら、国民の健康増進に関わっていく必要があると思う。国民の健康を脅かす疾患として、歯周病・糖尿病・メタボリックシンドロームおよび癌があげられている。ともに全身の基礎疾患(癌は除く)であり、ほとんどの病気がこれらの3疾患の合併症による相乗作用で起こることが明らかになった。これらの疾患は生活習慣病と呼ばれ、日常生活の悪習慣がこれらの疾患を誘発すると考えられている。したがって、食事療法(食事改善)や適度な運動を習慣にするなど、生活改善すれば病気になるらないで健康が維持できる。歯周病と全身疾患との関連の病気には、心臓血管疾患・糖尿病・低体重時早産・骨粗鬆症・胃潰瘍・風邪・インフルエンザ・誤嚥性肺炎・腎炎・敗血症などが、最近のデータで報告されている。歯周病は、歯の周囲の病気というだけではない。この事態には「口腔内の疾患と侮れない」と、歯科・医科が連携して病気のメカニズムを追究する学問「歯科生命科学」の進展が重要であると認識している。



## 介護報酬と診療報酬の給付調整

1. 居宅で療養している要介護者または要支援者に医療保険で定める療養を行っても、訪問歯科衛生指導料、在宅患者訪問薬剤管理指導料、在宅患者連携指導料は算定できない。上記以外は、医療保険の算定方法にもとづいて算定できる。
2. 介護保険法の歯科医師または歯科衛生士が行う居宅療養管理指導費・介護予防居宅療養管理指導費を算定した月は、以下の診療料は算定できない。

歯科疾患管理料
歯科特定疾患療養管理料
歯科衛生実地指導料
後期高齢者在宅療養口腔機能管理料
診療情報提供料(Ⅰ)の注2 (市町村または指定居宅介護支援事業者への情報提供)

あじのままに生きたらいい  
ぼくが住んでいる丸太小屋のなかに、一枚の大きなポスターが飾られている。重度知的障害更生施設「みずのき寮」と千葉盲学校の子供たちの、東京都美術館での絵は目の見えない人たちのすばらしい絵に驚いた。

私の「この作家あじの作品」は諏訪中央病院名誉院長である鎌田實氏の「がんばらない」である。著者は1948年東京都生まれ、東京医科歯科大学を卒業。74年に長野県諏訪中央病院に赴任し、病院を建て直し地域のこころを常に見つめつづける医療を行っている。この本の題名になっている「がんばらない」の項目で、あじのままに生きるというこの一説を紹介する。

物が見えないということ、は、なんと多くのものを見ていたことか。目が見えるぼくたちは物の表面を見ているが、目が見えない人たちは表面の裏側にひそんでいるものを表わしているような気がする。忙しい毎日のなかで疲れたとき、彼らの作品をながめているとほっとする。傷ついた人、病人だ人を癒す不思議な力をもった作品である。

# がんばらない

矢部あづさ (八尾市)

現代医療に対して、臓器を見て、全体を見なくなったという批判が出た。だから、ずいぶん時間がたつた。なるほど、人間の病気を治して、このとき、臓器からアプローチしていくのは、効果的で合理的な接近の仕方だという考え方もあるだろう。医学を進歩させていくとしたときに必然的な手法なのかもしれない。

生きてきた歴史に配慮し、それぞれの「生きていく意味」を尊重して、治療していくべきではないだろうか。障害者の「魂を癒す芸術」を見て



絵 藤田 進氏 (河内長野市)

いると、医学が忘れてきた全体への大切さを思い出させてくれる。諏訪中央病院に入るとすべ目につく壁に、のびのびした書がかかげられている。これらの書は、知的ハンディをもつ人々が暮らす施設、かりがね学園の「風の工房」でつくられている作品を中心に、五十点ほどの障害者の作品である。入院患者

さんたちの癒しの空間にならばと思つて、かかげさせていた。『がんばらない』、この書の一つの言葉を見る。『がんばらない』、この書はいつとも心を引き締める。ほくら医療者が重症な患者さんや末期の患者さんに、つい口に出してしまう言葉「がんばらない」が、最初、この「がんばらない」という文字を見たとき、ぼくはほっと胸をつかれた。知的ハンディをもった人の「がんばらない」は、ほくら医療者の「がんばらない」という作品は、力みのない悠々とした筆づかいとともに、すごい迫力をもつてぼくらの医療のあり方に問題提起をする。

多々の患者さんたちからも「不思議な勇氣を与えられる」と声をかけていただいた。『あなたには、あなたのままでいい』競争しなくてもいいですよ』と語りかけているようだ。

皆さんから、影響を受けた作家・思い入れのある作品などについての投稿を募集しています。

## 協会行事案内

電話 06-6568-7731  
お申し込みは ファクス 06-6568-0564

4月度生涯研修  
「GPPのための明解・歯周病の診断と治療」  
日時 4月20日(日) 午前10時～午後1時  
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)  
定員 100人  
講師 栗原英見氏(広島大学大学院医歯薬学総合研究科歯周病態学分野教授)  
会費 会員3千円、未入会者1万円

「診療報酬08改定 地区説明会」  
講師 社保研究部・政策部講師団  
会費 会員無料、未入会者1万円  
資料 3月19日に発送した『改定の要点と解説』を必ず持参ください

《4月12日(土)》  
●南部・東西南部地区 午後6時～ 定員 100人  
M&Dホール(保険医会館東隣り)  
●東大阪・八尾・柏原地区 午後6時30分～ 定員 100人  
東大阪市民会館(近鉄奈良線「河内永和」駅東へ徒歩1分)

《4月19日(土)》  
●西部・東部地区 午後5時～ 定員 120人  
大阪駅前第3ビル17階  
●南河内地区 午後6時30分～ 定員 50人  
すばるホール(近鉄長野線「川西」駅徒歩8分)

《4月26日(土)》  
●泉州会場 午後7時～ 定員 50人  
浪切ホール(南海本線「岸和田」駅商店街を西へ800m)

《5月10日(土)》  
●三島地区 午後7時～ 定員 100人  
高槻市立総合市民交流センター(JR「高槻」駅徒歩1分、阪急京都線「高槻市」駅徒歩5分)

保回連近畿ブロック企画  
「真実を聞いてくれ、俺は劣化ウランを見てしまった」  
日時 5月10日(土) 午後4時～6時  
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)  
講師 デニス・カイン氏(元米軍空挺部隊員)  
参加費 無料 ※終了後、午後6時10分より懇親会を開催します(参加費5千円)。

《デニス・カイン氏プロフィール》  
米軍に15年間在籍し、湾岸戦争では第18空挺部隊員として、「砂漠の嵐」作戦の最前線に立つ。現在、障害退役軍人。劣化ウラン弾問題を中心に研究をし、米軍の欺瞞を追求した書籍やDVDを多数発表している。

※保険医協会は個人会員制の組織です。説明会へは未入会歯科医師は参加できません。ただし、開業医会館の未入会歯科医師のみ有料(1万円)で参加することができます。また、保険医協会がスタッフとは、保険医協会に入会する条件がない開業医会館に勤める歯科衛生士や受付従業員のことです。